

～特定非営利活動法人 地域診療情報連携協議会～

平成15年度地域診療情報連携推進事業



特定非営利活動法人 地域診療情報連携協議会
Takizawa-kiyomi@nashin.com.net
TEL 0422-220-2200 FAX 0422-220-2201

平成15年度地域診療情報連携推進事業に関する中間発表

1. 地域診療情報連携の現状と問題点
2. セキュリティエンジンの機能
3. 電子紹介状授受システム
4. NPOによる運用

NPO法人 地域診療情報連携協議会

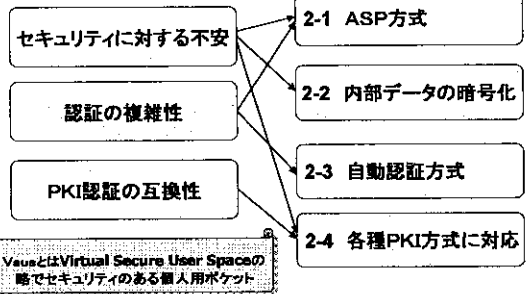
地域診療情報連携の現状と問題点

1. 九州、大阪、千葉、ORCAなどでの実績
2. 解決しなければならない問題点
 - セキュリティに対する不安
 - 認証の複雑さ
 - PKIの互換性

病院情報システムとの接続
登録者数の伸び悩み
運用コスト、認証にかかる時間
困り込み、広がり限界

NPO法人 地域診療情報連携協議会

2. セキュリティエンジン(Vsus)の機能

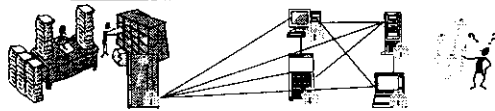


(株)ブルーアイランドネットワーク

2-1.セキュリティエンジンVsusの機能(ASP方式)

一般的な
問題点

1. システム導入の負担、システムの複雑さ
PKIの導入には機関ごとの証明書の発行、管理を行うサーバ(CAサーバ)、証明書サーバ、の導入と、それらのサーバと各利用者のクライアントメールソフト、WEBブラウザ等に全てお互いの公開証明書を手で相互に持ち合うことで、初めてPKIシステムとして成り立つ。



Vsusの
特徴

1. ASP方式によるサービス
ASP方式によるサービスになるので、機関の管理負担がほとんどなく、サーバ類およびクライアントがすべてシステム内で自動認証を行うので、利用者は証明書、鍵等を意識する必要がない

(株)ブルーアイランドネットワーク

2-2.セキュリティエンジンVsusの機能(内部データの暗号化)

一般的な
問題点

2. システム管理者の信頼度
通常のPKIシステムでは管理者が全てのユーザの秘密鍵を手に入れることが可能であり、ユーザ本人以外の第三者が閲覧したり漏洩したりする可能性がある



Vsusの
特徴

2. 内部データの暗号化
内部データは個別に暗号化されており管理者も閲覧できない。また暗号鍵は別サーバに保管されており、それを引き出すことはユーザ認証が必要のため、管理者といえどもデータも、鍵も持ち出すことは出来ない

(株)ブルーアイランドネットワーク

2-3. セキュリティエンジンVsusの機能(自動認証方式)

一般的な問題点

3. ユーザーの秘密鍵、証明書等の管理の困難さ
 ユーザーの秘密鍵の保管は物理的に各利用者での管理が必要であり、紛失時などは再発行が必要。同時にそれに対応する証明書の正当性を保持する為に完全なセキュリティポリシーの徹底も必要である。



Vsusの特徴

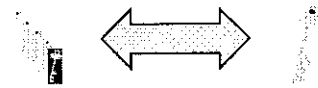
3. 自動認証方式
 ASP方式であること、全てが自動認証であるという特性上、ユーザに鍵や証明書を意識させない、証明書の更新も全て自動化されている。さらにユーザ主体認証システムにより、より動的な認証形態が取れる。利用者はIDとパスワードだけ覚えておけば良い。

(株)ブルーアイランドネットワーク

2-4. セキュリティエンジンVsusの機能(各種PKI対応)

一般的な問題点

4. 異なるPKIとのリンクの困難さ
 1. 通常のPKIシステムでは対向サーバーのルート証明書を各クライアントにインストールすることが必要で、安全な配布、処理の徹底が必要
 2. 対向サーバーで使用中のPKIシステムとのリンクの不具合が存在

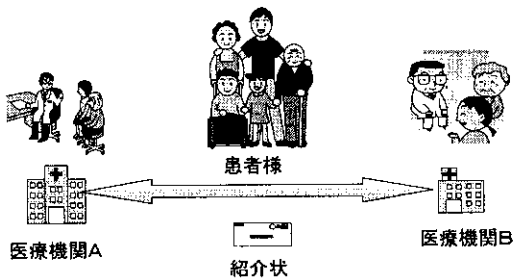


Vsusの特徴

4. PKIの互換性
 Full X509準拠、S/MIMEとの連携とS-IMAPをVsusサーバーで自動サポートすることで各PKIベンダーとの互換性を確保

(株)ブルーアイランドネットワーク

電子紹介状授受システム



NPO法人 地域診療情報連携協議会

電子紹介状授受システム

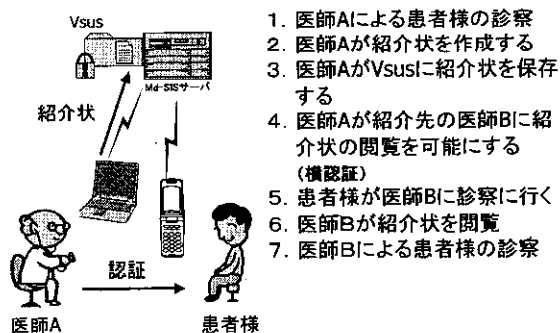
ケース1: 患者様がVsusのIDを持っている場合

ケース2: 患者様がVsusのIDを持っていない場合

電子紹介状授受システムでの「認証」と「仮登録認証」
認証 医療行為をしたときに医師と患者の関係を意味付けることと関係を確認するためのもの
横認証 従来のPKIでの認証局の仕組みをさらに使いやすくしたもので動的に認証させる仕組み
仮登録認証 VsusのIDを発行するときに認定された機関や個人にミニ認証局としての役割を持たせて登録処理の代行を図るもの。
 また、ネットワーク上ではID=個人になるので、今回は仮登録認証手順としてTV会議システムや携帯電話などの写真を使用する。(2ショット認証)

NPO法人 地域診療情報連携協議会

ケース1: 患者様がVsusのIDを持っている場合



ケース2: 患者様がVsusのIDを持っていない場合



Anshin-com.net

「健康、ありがとう!」がこだまする……



健康のための診療情報の共有と活用……安心コミュニティネットワーク
NPO：特定非営利活動法人地域診療情報連携協議会

平成15年度地域診療情報連携推進事業

NPO法人 地域診療情報連携協議会/Anshin-com.net

コンセプト
「安心・安全・ありがとう」地域住民がつくる医療情報システム

予想される効果
異なる病院・診療所・セキュリティ環境により電子紹介状を共有に実現 → 安全・安心な地域社会
NPO自主専攻の推進 → 標準を依り透明性のある事業運用 → 新しい生活圏のモデル

全体のデザイン

各関係者 医療連携への 新ビジョン提示	医療機関 中核病院、地域医 院、患者との連携	地域住民 医療に対する信 頼と意識改革	協力企業 医療機関、患者に専 門知識、ノウハウ提供
----------------------------------	-------------------------------------	----------------------------------	--

「健康を中心とした」
新しい地域生活の
創出

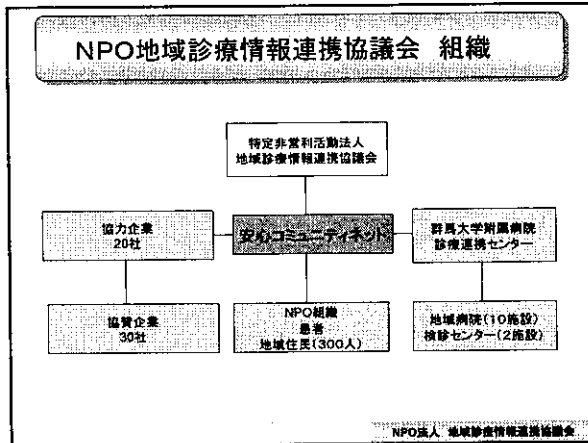
検診センターや
診療所からの紹介
状データ、問診デー
タで医療連携を充実

電子問診カルテ、
電子紹介状により
医療機関との交流

本ネットワークシ
ステム運営に協賛し、
製品や専門サービ
ス拡充に貢献

運営コストの確保

NPO法人 地域診療情報連携協議会

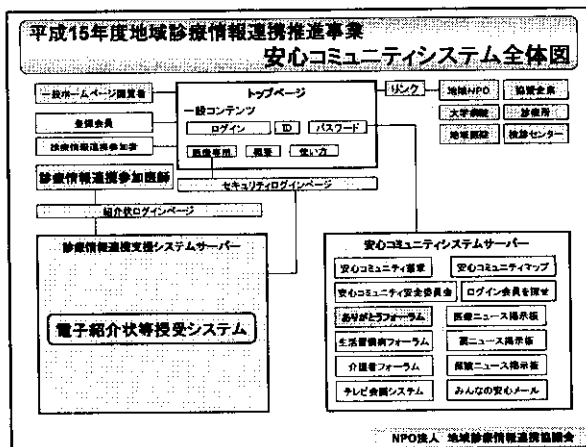


平成15年度地域診療情報連携推進事業 安心コミュニティシステム全体図

(機能1) 診療情報連携支援システム
・電子紹介状等授受システムを中核に、協議会会員企業等の関連システムとの連携機能により成長していくシステム

(機能2) 安心コミュニティ・ネット
・協議会会員に、高セキュリティ・縦横階層構造の意見交換・医療関連情報授受の場等を提供
・協議会会員や病院・医療関係者向けに高セキュリティなASP機能を提供

NPO法人 地域診療情報連携協議会



Anshin-com.net

「健康、ありがとう!」がこだまする……



健康のための診療情報の共有と活用……安心コミュニティネットワーク
NPO：特定非営利活動法人地域診療情報連携協議会